

2014/4/1 新年度スタート  
(火)



いよいよ4月、新年度がスタートし、消費税もアップ。昨日阪神の無印でいつも使っているものを少しまとめて買っておこうと出かけたが、やめた。レジするまでに相当な時間がかかりそうだった。今朝は向かいのJR西日本本社ビル前が賑やか。恒例の労組の呼びかけ。これもまた風物詩。桜もいっきに咲き、今日も晴れるから、絶好の桜見日和。どこもかしこも、春爛漫。

2014/4/3 先人のミス？  
(木)

今週は今日にかけて晴れ、絶好の桜見日和が続いた。ラジオからも桜の話題がつきない。今朝の京都のFMで「半木の道」の枝垂れ桜の話が興味深い。毎年一本だけ十日ほど早く花が咲く木があるらしい。府の担当課が長年の疑問を解くべく管理を委託する植木会社に書面で尋ねたところ、調べた結果が返信されてきた。そこには、見た目はよく似ているがその木だけ品種が違っていたと解いてあって、結びに、「先人のミスをどうぞ笑って許してやってください」。なかなか粋な結び文。ただ、本当にミスだったのかしら。遊び心からだったような気がする、のちのちの人たちの興味と関心に。

2014/4/7 進む季節  
(月)



桜の花びらが舞う。まちかどの桜はそろそろ葉桜、造幣局の桜はこれから。今日も空気は冷たい、でも陽射しは暖かい。清明もすぎ、朝5時10分ぐらいから東の空が見え始め、15分ほどで明るくなった。早起き感が少々そがれる。そのうち日の出に追いつかれ、追いこされ、季節が進む。先日地下鉄ホームのポスター板が目にとまった。黒地中央に流れる「蓮」の文字。白の陶器に紅の蓮花。シックなポスターへ近づいてみると、東洋陶磁美術館のものだった。4/12から始まる特別企画展の案内。進む季節を思い、これは行こうという気になるgoodな企画展。

2014/4/9 口ほどに語るもの  
(水)



今週はここまで晴天続き。桜は葉桜となり、もみじには若葉。若草色が陽射しに輝く。青空によく映える。初夏も近し。さてさて今日は大阪市内で例の記者会見がある。会場は梅田のホテルとか。ヘリコプターの音も聞こえるから周辺は大変なことになってそう。とにかくこの問題は人間観察、組織観察の面で興味深い。リアルタイムでは無理ながら、記者会見の映像もしっかり目にしたいもの。口ほどに語るものがあるから。

2014/4/11 歩く  
(金)



今日から造幣局の桜の通り抜け。晴れているので、人出も多そう。通り抜けが終われば大阪の桜も終り。春が進み、ヤマブキの黄色、ユキヤナギの白、そしてチューリップもきれいに咲いていた西区のうつぼ公園。頭のクリアな朝のうちに考え事をまとめようと足をのばした。やはり歩くのが一番いい、アイデアを練るのには。緑があり、できれば山が見えれば状況設定は完璧。大阪市内では無理な話。その点、京都、「哲学の道」も納得。京都を歩くにはいい季節がめぐってきた。

2014/4/12 変わりつつ変わらず  
(土)

4月も中旬、1日にTOPのメッセージを更新したものの、他のページはそのままだった。あらためて見直すを自分でもダメ出し。あわてて書き直したり追加したり。それでも人間、自分の“さが”からは逃れられない。人から見ればたぶん、あまり変わりなし。変わってもまたおかしい。本当に人それぞれ。人も自分も、変わりつつ変わらずわが道をいく。そうして生きている知人の一人が『人生の楽園』に二度目の登場とか。たのしみ。

2014/4/15 凜として  
(火)



ビルの谷間の高い木、青い空に新緑がの若葉が映える。昨日は十五夜、今日は満月、明日は立待月。明日にかけても晴れそうだから、春のお月見はいかが。そんな風情もぴったりの地で暮らす一家の様子。『人生の楽園』には変わらない主の姿が映っていた。友人に創作活動をしている人が少なくない。何らかの芸術的な作品を創るというだけでなく、人生そのものを作品として。人から脚光をあびようがあびまいが、大きな流れの中で、わが身に訪れる心境の変化を巧みにとらえて、人生の新しい章をひらく。彼、彼女たちは凜として、やさしい。

2014/4/17 ぶしつけ？  
(木)

春はすぎたな、と感じた。陽射しは夏めいて、風も初夏。スカーフをやめにして出てきて正解。空気はカラカラに乾燥して、明日の雨予報は大歓迎。さてさて昨日の記者会見。辞書によると「科学」とは『体系的であり、経験的に実証可能な知識』、実験ノートを確認することが“ぶしつけ”とはいかに。世界的発見の発表に携わる科学者の、あまりに狭隘な弁に、まるで仲間はずれをおそれる子どもの世界の感。どうなってしまっているのかしら、彼らの世界観は。原発事故の原因に「日本の文化」を挙げた2年前のかの報告書、今回の顛末はどこへいきつくか。

2014/4/19 もう先へ  
(土)



鼻先に草の匂いが届いた。藤も咲いていて、初夏も近い。近いといえば、もうすぐ大型連休。たのしみに待つ人々は今頃そわそわ。たのしみといえば、たのしい授業をめざして民間学習塾と協働を決めた佐賀の自治体。ニュースでその民間塾の様子を観た。賑やかで、解答タイムの記録更新に“どや顔”の小学生。これを良しとする？ 先を見据えた人たちはもっと本質的な方向へ行き出しているのではないか。『着手先行型は歴史の批判に耐えられない』を思い出す。

2014/4/22 八ヶ月  
(火)

「穀雨」がすぎ、初夏の風景が藤に若葉に。毎年同じ季節があってくるけど、ことの運びや状況はけっして同じではないからおもしろい。おもしろい、と言えるほど、季節を重ねて幾年月。いやいや、もともと、日常の些細な観察だけでたのしいと感じられる。見て、聞いて、何かを感じて、考えて、認識を新たにす。それはさておき、一年の三分の一が過ぎようとする今から、むこう8ヶ月に何が待ち受けているか、たのしみにしましうか、それぞれに。

2014/4/25  
(金)

生薬

連日の晴天。そのせいか、おそろしく空気が乾燥している。肌もさることながら、ノドにくる。外も室内も、湿度はおそらく30%台。冬以外で初めてノド飴を買う。さっそく封を開け、説明書どおり「成人(15歳以上)一回2粒」を口へ。みると、15歳以下は「服用しないで下さい」。たかがノド飴で?と感じ、「4種の生薬配合」のせいかなと思なおす。効き目があるからには、それなりに成熟した身体が必要とのこと。

2014/4/28  
(月)

自然にまかせて

ようやく雨。今日はまだ少量、明日本降りの予報。けっこう強い雨になりそうだから、藤は散ってしまうかもしれない。そういえば龍安寺の藤も久しく見ていない。五月になると太田神社の杜若、こちらも久しい。絶好のタイミングで目の当たりにするというのもそうそうないもので、同じような風景と心持ちに居合わせない。それはそれでいい。また新しい心持がじわりと湧いてくるから、思いがけないきっかけもやってくるはずだから。自然にまかせて、流れを感じて。

2014/4/30  
(水)

祝日の美術館



今日はまだ曇り空。午後から少しは晴れそう。昨日は雨のよい一日だった。乾燥しきっていた空気がうるおい、この時とばかりに歩くことにして、まずは東洋陶磁美術館。いつもより来館者は多かったが、それでも、まばら。女性のグループ、夫婦、そして「お一人さま」。その中で意外に雑な鑑賞マナーが年配のご夫婦。女性のグループは社会的に鍛えられ、けっこう洗練された。年配夫婦もこれからか。